

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境								2.9
1 音環境				2.3	0.15	2.4	1.00	2.3
1.1 騒音				2.0	0.40	3.0	0.40	
1 室内騒音レベル				2.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				2.4	0.40	2.5	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				2.0	0.60	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		居室Lr値=50		-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				2.4	0.35	2.2	1.00	2.3
2.1 室温制御				3.2	0.50	3.4	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能		窓SC=0.522U=2.9外壁U=1.19屋根U=0.7であり、良好な断熱・日射遮蔽性能を確保		4.0	0.25	4.0	0.43	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				2.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				3.3	0.25	3.3	1.00	3.3
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		日常動作訓練室4.794%、共同生活室6.668%、居室3.421%		5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.30	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御		庇(バルコニー)+カーテン		3.0	1.00	4.0	1.00	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.5	1.00	3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材を全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 タニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				2.0	0.30	2.6	0.38	
1 換気量		居室1/15以上確保		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		建物内全体を禁煙とし喫煙所は建物内部に設置しない		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				3.3	0.40	2.6	1.00	3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		内壁・床に防汚性建材を採用、風除室扉どうしが同時感知しない様十分な距離を確保、外部金属部材は亜鉛メッキ処理		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		安全な排水経路を確保、ゴミ置場を確保、清掃作業に使えるコンセント配置		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.3	0.31	-	-	3.3
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.7	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		磁器質タイル貼60年		5.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	

	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管VLP(B)雑排水管VP(C)給湯管SUS(C)、Eは不使用	5.0	0.15				
	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23				
	2.4	信頼性		3.6	0.19				
	1	空調・換気設備		1.0	0.20				
	2	給排水・衛生設備	節水型器具を過半以上に採用、配管の系統を区分、井水利用を計画	5.0	0.20				
	3	電気設備	非常用発電を設置、電気精密機器を地上階に設置	4.0	0.20				
	4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20				
	5	通信・情報設備	メタル・PHS網と通信手段を多様化、通信精密機器を地上階に設置	4.0	0.20				
	3	対応性・更新性		2.9	0.29	2.8	1.00		2.9
	3.1	空間のゆとり		3.4	0.31	2.6	0.50		
	1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.3未満	4.0	0.40	2.0	0.40		
	3.2	荷重のゆとり		2.0	0.31	3.0	0.50		
	3.3	設備の更新性		3.4	0.38				
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17				
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17				
	3	電気配線の更新性	ケーブルラック、EPSの設置、保護管による配線、天井点検口の設置	5.0	0.11				
	4	通信配線の更新性	ケーブルラック、EPSの設置、保護管による配線、天井点検口の設置	5.0	0.11				
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22				
	6	バックアップスペース		3.0	0.22				
	Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-		2.3
	1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30				2.0
	2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40				2.0
	3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30				3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50				
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50				
	LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-		3.5
	LR1	エネルギー		-	0.40	-	-		3.7
	1	建物の熱負荷抑制	PAL値=299.9	3.6	0.30				3.6
	2	自然エネルギー利用		3.0	0.20				3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50				
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50				
	3	設備システムの高効率化	LED照明を採用	5.0	0.30				5.0
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	ERR=44.2%	5.0					
		集合住宅の評価							
	4	効率的運用		3.0	0.20				3.0
	4.1	モニタリング		3.0	0.50				
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
	LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-		3.2
	1	水資源保護		3.4	0.15				3.4
	1.1	節水	自動水栓に加えて節水型便器を採用	4.0	0.40				
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60				
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67				
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33				
	2	非再生性資源の使用量削減		3.0	0.63				3.0
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07				
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24				
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20				
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20				
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05				
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディティールを採用、PS・天井内配管により設備との錯綜を回避	5.0	0.24				
	3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.22				3.6
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32				
	3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68				
	1	消火剤		-	-				
	2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品(A種)を採用	5.0	0.50				
	3	冷媒		3.0	0.50				
	LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-		3.5
	1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=66%	4.3	0.33				4.3
	2	地域環境への配慮		3.0	0.33				3.0
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25				
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50				
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25				
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
	3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場及び管理用車両の駐車施設確保	5.0	0.25				
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25				
	3	周辺環境への配慮		3.1	0.33				3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40				
	1	騒音		3.0	1.00				
	2	振動		-	-				
	3	悪臭		-	-				
	3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40				
	1	風害の抑制		3.0	0.70				
	2	砂塵の抑制		1.0	-				
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30				
	3.3	光害の抑制		3.7	0.20				
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」チェックリストの一部を満たし、広告物照明がない	4.0	0.70				
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				